ソーカン
Cany♡Com

< YOUザー情報募集 >

キャニコム製品を現場でよく使われている“YOUザー”情報を募集しています。自薦他薦問いません。こだわりの使用方法やメンテナンスの仕方等を共有していくことで、少しでも世の中がより良くなっていけるように、そしてこれから製品を使われる方が“楽に楽しく” なるような内容にしていきたいと考えています。

< 広告募集 >

随時広告募集を行なっています。是非一度ご相談ください。デザイン制作も請け負っていますので、お気軽にご相談ください。

キャニコム DNB戦略室
dnb@canycom.co.jp まで

この冊子を切っ掛けに さらに繋がりが増え キャニコム製品にも興味をもっていただければ幸いです。

CANYCOM

CANYCOM_DNB @CHIKUSUICANYCOM @chikusuicanycom @canycom_dnb

キャニコム コミュニケーション マガジン『Cany・Com』創刊(2021.7.1)号：特集林業 企画・デザイン制作 ／ (株)筑水キャニコム DNB戦略室 〒839-1396 福岡県うきは市吉井町福益90-1 TEL 0943-75-2195

特集 林業

道づくりの想い
田邊 由喜男

京都府立北桑田高等学校
京都フォレスト科

多目的造林機械
山もっとジョージ

CANYCOM
COMMUNICATION
MAGAZINE

Canycom
キャニ・コム

キャニコム製品が使われているところ
見たい・知りたい・伺いたい♪
”YOUザー“との出会いを求め
あっちへと こっちへと

特集
林業

滋賀県
Shiga Prefecture

Visit YOU（ユー）ザーをもとめて。

『やまびこ』の製品改良にご協力いただいている
山の道づくりのスペシャリスト田邊氏に
林業にかける想いややまびこのこと
これからについて話を伺いに行きました。

根株や植生を使い工夫された道づくり

YOUザー

田邊 由喜男
Tanabe Yukio
森杜産業株式会社
代表取締役社長

1956年　高知県生まれ
1975年　高知県大正町役場入庁
1996年　「四万十式作業道」づくりに取り組む
　　※「四万十式作業道」…低コストで壊れにくい
2006年　市町村合併により四万十町商工観光課長に就任
　　（林業政策監、林業振興室長等を経験）
2009年　四万十町役場を退職
　　森杜産業株式会社を設立
【受賞】　林業技術コンテスト林野庁長官賞　日本グリーン賞

※滋賀もりづくりアカデミー https://kenshu7.wixsite.com/shigamori-academy
講師紹介ページより引用

高知県から滋賀県へ

■林業の世界・道づくりへ

52歳まで高知県で地方公務員をし、その間10年程林業に関わることがあり興味が湧いて林業を始めました。
高知県で架線集材というのは材木を山から林道に寄せてくるやり方ですが、自分から道を作って木に近づいて行くほうがもっと効率がいいんじゃないか、ということを考えるようになり道づくりをスタートさせました。
なるべく林内車等を使って材木を出しトラックに積んで市場に出すことを、より簡単にできないかなということを考えていました。
公務員の時、町有林の経営をしたことがあります。一千ヘクタール近い町有林をどういう風に変えていくか。
技術員と一緒に作業道を開設し林内車、ユンボ※、グラップルを使って、従業員の給料を出していくこと、それから機械経費を全部出していくこと、それで利益を出していくことも始めたのでいろいろと勉強になりました。

※ ユンボ ＝ レンタルのニッケンの登録商標。一般的にはバックホー(バックホウ)・ショベルカー・油圧ショベル等で、土木建設機械の呼称の一つ。

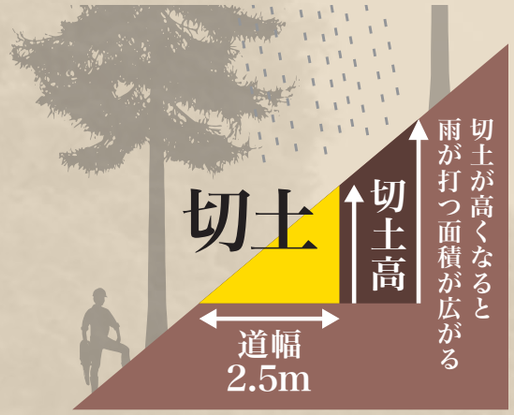
バックホーで根株を取り出す

グラップルで
材木をフォワーダやまびこへ

■田邊式道づくり

道を開設する機械ユンボのサイズで道幅がきまる。排土板(写真左参照)の幅員が2m。最小2.5m位の道が高知県の30、40度の地形の中で一番山を痛めない広さかなと。それが広くなると山側の切土が高くなり、雨が打つ面積が広がったり、山の水分が抜けたりしやすくなるのでベストは2.5m程度が良いと思っています。

雨が多い地域で、多少被災があっても直して通れるようにするにはどうしたらいいかということで、根株や植生を使ったりと工夫しました。



■滋賀県での課題

サントリーホールディングスさんに『天然水の森』※という、全国的な取り組みがあり、滋賀県では日野町の手入れが行き届いていなかった森林を、同社と土地所有者、行政、住友林業やその他林業事業体、私の森杜産業で、地下水を育む、生物多様性の高い森林に育てて行こうということになりました。

190ヘクタール位の山林の中を30年の長期にわたって整備をしていく仕事で、2011年から今まで10年程も山に入らせてもらっていますが、大きく変わりましたね。

現在作業道が30キロ位はそのエリアに新たに入っているんじゃないかなと思っていますが、人工林含む環境林整備がどんどんできてきて、山にいろんな希望がたくさん湧いてきて、あとの10年でさらにどう変わるか楽しみです。

■移住して大変だったこと

「自分の技術力の無さ」というのが一番じゃないかな。試行錯誤でやっていますけど、理想に近い形で仕事ができないというのが大変。誰にも教えてもらったことがないですし、気候とか土質が違うので従来のやり方では通用しないという事がたくさんありました。

ベストなやまびこ

■ベストな作業体系

20年くらい前は小型中型のグラップルは出始めで、普通のバックホーにグラップルの油圧をつけて四苦八苦でレンタル会社さんと一緒になってつくっていた。

林内車についてはキャニコムさんの「やまびこBY3301(当時の型式)」があったので、それに積み込む体系をいかに組み立てるかが課題でした。

当時、いろんなメーカーの機種を使ってみて一番ベストマッチングするのはどれかと選ばせてもらった結果がキャニコムさんのやまびこだったんです。同じタイプの機械がある会社にも行ってダンプをサイドダンプに変えたり、荷台をショートカットしたり等いろいろしてもらいましたが、材木を積んだ時の重心の位置がどうしても機械のセンターに集まらなかった。また、機械が小さすぎると走行の時危険で、機械の前方が上がったり、ミッションを変える時に材木が動いたりということがあります。

いろんな機械を使いましたが、やまびこは木材を積んだ時の重心の位置、大きさなど全ての中でベスト、他の機種にはない良さがありました。

BY3301 (1996年~)

BY460 (2004年~) / BY460X (2017年~)

BY510 (2020年~)

■スイッチバックの道づくり

初めはいろんな人の文献をみながら勉強していてカーブ重視型の線形などやっていましたが、地域の地形等に合った実情があるので、どうしたら一番効率がいいかを考えました。

一番短距離で安定して出すにはどうするか。同じ縦断勾配というか、例えば15%で登りっぱなしという線形を選んだ時に、スイッチバックを取り入れない限り作業効率が悪くなり迂回路になって一つの路線が長くなる。

スイッチバックを使って起点から終点まで短路線で結ぶ。そういう作業体系で林内車を使って出して行くのがベストと気づき、線形が変わっていきました。

■後ろ積みのものと比べて

当初の線形はスイッチバック重視型ではなかったので、トラックタイプの後ろに荷箱があるものでも十分使えなくはなかったのですが、ターンをするたびに材木が動くのでスイッチバックを取り入れたやまびこでないと最小限の路網では材木を出せないというのがわかってきました。

トラックタイプはどうしても荷箱が後ろなので、現状のグラップルで積もうとすると使用する機械の大小により、アームを伸ばしきれないと積めない、荷箱が近くでないとだめなど、不安定さがあります。やまびこの場合はいつでも積める状態、キャビンがないので右からでも左からでも自由に積めるのがいちばんの利点ですね。

■積載量について

現状、一台の積載量が2.5㎥くらい、それを1日に10〜15台出すことが可能なので今の幅で十分じゃないかなと。というのは、「やまびこBY460(現行機種BY510と同等タイプ)」で材木を運んで出すと、材木を降ろす場所がすぐいっぱいになってしまうので。すごく効率の良い機械だと思っています。

どのメーカーでも走行スピードは一緒ですが、いかに早く積んでいかに早く降ろすかというのがメインなので。

今回、後継機種BY510の試作機を使わせてもらってますが、だいぶ改良されていますね。一番のポイントは材木を降ろすところのタテボウ(サイドポール)の開き方、閉じ方です。当初からエンジン等は問題なかったので、今はベストではないかと思っています。

※ **天然水の森** = サントリー「天然水の森」ホームページ https://www.suntory.co.jp/eco/forest/ を参照

田邊さんの研修は、実戦に近くて学ぶことが多いと思います。今までいろいろ乗りましたけど、やまびこは、林内車としては一番いいんじゃないですか。操作もサイズ的にも。

馬場 徹さん
研修員として参加

田邊さんとの付き合いは10年になります。アカデミーでは作業道の作り方と木の集め方等をご指導いただいています。「現場に適した作業システム」、「機械配置をどうしていくか」と、一連の大きな考え方の中で指導を受けています。
琵琶湖の水源という位置付けで、滋賀県では森林づくりを行なっており、林業を営みながら水源林を保全していくのが非常に大事だと思っています。
再造林をした後どのように森づくりをしていくのかを考え、自然と共生したような林業を目指していきたい。

林業を始めて7年になります。伐倒等による危険もありますが自然の中での仕事が魅力です。

嶋村 紀寿さん
研修員として参加

道の途中で沢が横断する箇所。上流側にダムを作り、道下(地中)に管を配して、水流と水圧で下流に綺麗な水が流れ出る仕組みになっている。

市場によって相場が違うので造材する長さの調整も必要。

道づくりの想い

■中・小型のフォワーダとグラップルの作業体系

大型機械体系を否定するわけではありませんが、私が目指しているのは大型プラス、スモール林業。大型だけではやりきれないところは、小さな機械を入れてうまく出して行くやり方。
一番は山に負荷をかけないということ、山に傷をつけないということ。大きな道を多く入れなくても、幹線に大型がいたらあとは支線で小さなシステムで出せるようなのがベストじゃないかなと思っています。

■作業班の組み方

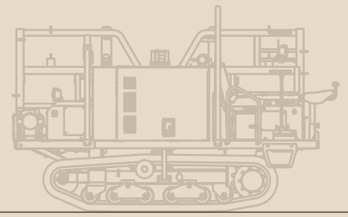
当初から二人一セット、機械についてはグラップルと林内車、それで1日仕事をする。だからそういう班を何セット雇用できるか。それは道づくりプラス作業体系を組んで行くと、すごくベストな状態の仕事ができるんじゃないかなと考えています。
二人がグラップルと林内車を使って材木を出す。グラップルを朝8時半から夕方5時まで乗るわけではありません。二人が作業をどれだけ効率よくして、最終的に林内車で1日どれだけ出材できるかが一番のポイントです。

■チームで仕事をする

バラバラで仕事をしていたら、いい仕事ができない。道をつくる人は、材木を出材する人のことを考えて、強い又、効率の良い道をつくる。材木を出す人は道に負荷をかけないように機械を使って出して行く。それがチームですね。

■滋賀もりづくりアカデミーの講師として※1

皆伐※2をすると森を育てる、森を磨くと言えるかもしれませんが、やはり寂しい森になる。いい商品だけを取っていくのではなくて、“10年20年、30年先を見た林業をやるために森を育てる磨く”をしていくと、自分が働く場所が安定してあるっていうことにもなります。
1回目でいいものだけを取ってしまうと2回目3回目にはいいものが残りませんよね。だから磨くという意味は、今悪い木を手入れして次の10年また次の10年を目指すような林業をやっていくということです。そういうのを目指しています。



取材を終えて

チェーンソーや機械音の響く中、鳥や虫の声、木々の葉や川のせせらぎ…。林業の現場にはデスクワークでは得られない肌で感じる良さがたくさんあった。田邊氏が目指す林業の未来、“本当の技術者”には想いとともに経営ができることが一つのポイントとのこと。人並みプラスワンを目指せと言われたことを大事にしたい――。

Thank you
so much.

※1 滋賀もりづくりアカデミー = 2019年に林業の専門性を備えた人材育成を目的として開校。田邊氏はその講師の一人。
※2 皆伐(カイバツ) = 森林の対象区画(収穫時期を迎えた樹木)を全て伐採すること。 間伐(カンバツ) = 木の成長の妨げとなる樹木を間引くこと。

ミライ学ぶ
canycom user. and the future.

京都府立北桑田高等学校

京都フォレスト科で林業を学び強くなる

京都市右京区にある北桑田高等学校には全国的にも数少ない**林業専門学科**があり
その**「京都フォレスト科」**では林業に関しての知識と技術を幅広く学ぶことができる。
育林からの間伐・ログハウスの建築・レーザー加工など**木に関わる多くを学ぶ**ことができるが
自然の中での実習がもたらす**“新しい体験”**が子供達の明るい未来に繋がる── とそう思える学校だ。

KITAKUWADA HIGH SCHOOL

Forestry course

1版　2021年6月 Canycom 出張系物　義理人情報新聞　第1号　DNB秋峰堂

義理人情報新聞

みがくかがやく

やまびこ活用

専門分野を学びながら
個々が必要とする力を身につける

林業教育は見方や立場、求められることによって違ってくる――と、お話していただいたのは、北桑田高等学校京都フォレスト科の田中良泰先生。木材生産業・森林破壊・保全…林業後継者育成だけではなく、実習が多い高校で学ぶことで、自己に対する誇りや自信をつけていって欲しいとの想いを話し続けられた。これまで色々な〝仕掛け〟を用意し続けて、学校もこの30年でだいぶん変わったとのこと。設備の充実・機械化もその一つ、グラップルを8年ほど前に導入し、その後2年がかりで資金を工面しフォワーダやまびこを購入した。それまではほぼ人力だった実習が機械化され、飛躍的に精度と強度をあげることができた。うちの実習からいったら絶対横積みなんですよ。土場が狭くてもダンプできるこのやまびこが必要だった。とのことで、とてもありがたいお言葉をいただいた。

高校生の時に林業を学び、将来親世代になった時に「自分は若い時に林業を学んだ」、「孫が林業を学ぶ時に後押ししてやれる」と、そう思ってもらえる教育を今しないといけない。多くの職員と遠い未来に向かって夢を語り合いながらやっていると語る田中先生に、ここ北桑田高等学校には林業を通して人を育てる〝強い想い〟を持ち続けている教師がいると感じた。自己肯定感を高めて、自分がやってることに誇りが持てる自信が持てる、そうやって送り出した生徒がその後、何かを始めた時に途中で挫折しないような仕掛けをこれからもやって行かなければならない！と言葉を強めていた。

田中 良泰先生
Tanaka Yoshiyasu

これからは林業機械はもちろん、林業技術者、林業のプロの時代と考え、次の世代に伝えていきたい。

生徒一人一人が主人公となり、
『みがき、かがやく』ことができる高校

新しい時代を創造する力を育む
京都府立北桑田高等学校

キャニプロ
CANYCOM PRODUCT

多目的造林機械

山もっとジョージ

林業の中でも機械化が未だ進んでいない造林作業――
“山もっとジョージ”はその造林作業に特化した新たな分野の作業機です。

林野庁補助事業 林業・木材産業成長産業化促進対策交付金事業対象機
『山もっとジョージ』は平成30年度林野庁補助事業(スマート林業構築実践事業のうち森林作業システム高度化対策)の支援を受け開発しました。

運転席自動水平制御装置

開発背景

開発～検証～発売まで約3年、現場のボヤキを凝縮しました。

現状
国土の森林割合は66%
(約2,500万ha)

その内
約1,000万haは
人 工 林
半数は主伐期
(木材の収穫〈伐採〉時期)

課題
主伐は増加傾向だが…
再造林は追いつかず

造林作業は殆ど人力で重労働 (機械化されていない)
担い手の確保が急務
造林工程の機械化が必要
《 軽労化・効率化・省力化 》
職場環境の改善で若い人材の定着を促す

検証
造林作業(地拵え・下刈り)で
効率の上がる製品はないかの検証を行った

使用製品／ブッシュカッタージョージ(CG431)
検証場所／傾斜が30°未満の林地

OK 雑草・笹 灌木
NG 伐根 進入不可!!
もっとも支障となっているのが伐根
ブッシュカッタージョージ (堤防除草用製品) のままでは対処できない…

改良
検証～改良を重ね
実用的な製品として確立へ

❶本体を林地仕様に
❷伐根粉砕と下刈りが同時にできる
アタッチメントの開発
❸コンテナ苗運搬・残材集材も対応できる
多目的造林用機械にすること

林業の課題は「伐採」ではなく「植林」にある!

開発のきっかけは、日本で最も林業が盛んな北海道庁からの問い合わせ。河川敷で草刈りをする機械「荒野の用心棒ジョージ」を造林のために使えないかというものだった。

林業というと森の木々を切り倒し、丸太にして山から下ろすようなイメージがあるが、伐採した後に木の苗を植え、育てていくことも含まれる。実はこの“植える”という作業の機械化が進んでいないことが、担い手不足を深刻にする原因になっているという。
「せっかく若い人が林業の世界に入ってきても、みんな伐採をやりたがる…

日本を元気にする 九州のいいヒト、いいコト、
いいシゴトを探し出し、全国にお届けするメディア「Qualities」
「森林を守り未来へつなげる
キャニコム“現場第一主義”の林業プロジェクト」より引用

つ づ き は
コ チ ラ か ら ▶
「山もっと」の詳しい記事を含め、
キャニコムの深イイ話は3つ!

Qualities
https://qualities.jp/
クオリティーズ

キャニコムニティー CANYCOM COMMUNITY

いろいろなキャニコム“YOUザー”から「お声」をいただくコーナーです。

間伐材を活用した循環系の取り組みを
クラウドファンディングで実施していきます。

NPO法人 熱海キコリーズ
能勢 友歌さん

わたしたちは、多種多様な本業の傍ら熱海で主に週末を中心に森林保全活動を行う団体です。熱海市内の放置林となっているヒノキ中心の人工林を間伐することで森林再生化に取り組んでおります。
さらに、その間伐材を伐りっぱなしにせず、搬出～製材をし、熱海市内に還元する活動を通して地域活性化にも取り組んでおります。
搬出経路をつくり、SUPERやまびこの林内作業車を導入し、活用させていただくことで、効率が上がり、安全で着実な搬出活動を実施することができました。今回このSUPERやまびこ林内作業車は自伐型林業推進協会様経由で、レンタルさせていただいております。
熱海市内で間伐・搬出した木材を製材し、森の中に間伐材ウッドデッキをつくります。
このウッドデッキを中心とした森林浴フィールドでは、一般の方々が森林に親しみを持っていただくためのイベントやワークショップも企画します。

SUPERやまびこ林内作業車のおかげで
作業効率がアップ！

軽トラで土場まで運ぶ時もスムーズです。

熱海キコリーズ

やまびこと薪棚、眼下に街が見える。

YouTuber
Markさん

「自分で木を切り、家を建ててみる」その思いで、愛媛に山を買い、20年の東京生活に終止符を打った。
山と言えば、自然豊かで、大木がそびえ立ち、動植物の宝庫だと思っていたが、現実は、まるで違っていた。
木々は密集して細く、植林された杉や檜は間伐されずに放置され、ヒョロヒョロと天高く伸びているだけ、その下には日は届かず草も生えていない。
山が死んでいるように見えた。
まずは放置された杉や檜を切りまくった。まっすぐな木はほぼなく、製材にも出せないような細く曲がった木ばかりだったが切らないことには始まらなかった。
そんな木でも丸太のまま使うのならなんということはない。掘立の作業場とログのガレージを制作してみた。
植林され放置された山は死にかけ、山だけでなく川や海、植物、動物に影響し、そして人々にも多大な影響を及ぼす。山は生命の源だ。山に住んでから、山を整備すること人々が木や山を利用することの大切さを実感している。

掘立作業場と建築中のログガレージ

梁にホゾ穴を掘っているところ

Markの山暮らし日記

横積みタイプの車体は、長尺の木材も積載可能。

西尾レントオール 株式会社
村佐 慶さん

厳しい自然の力に反すること無く安全な作業が求められる林業において、その現場の条件に合った機材をレンタル提供することに取り組んでいます。
多くの現場を回る中で、特に小型の機材の必要性を知り、お客様を通じて筑水キャニコム様の商品を知ったことが導入のきっかけです。
現場では、作業道や林内路網の作設には弊社で保有しているミニバックホウ等の汎用機で対応出来ますが、商品である立木を傷つけること無く搬送する集材作業には厳しい条件が求められ汎用機では難しいということを知りました。そんな現場の声を満たす商品が「フォワーダやまびこBY460」です。その横積みタイプの車体は、長尺の木材も積載可能で、スイッチバック式の林内路網でも使えます。またそのバランスの良さは作業道を含む森林内の道を必要以上に傷めること無く搬送します。これからもこういった商品をレンタル供給することで微力ながら林業の生産性の向上と安全に貢献したいと思います。

作業道や林内路網の作設は
ミニバックホウ等で対応。

グラップル機能に
ウインチの付いたバックホウ。

西尾レントオール

林業を森アゲる グッズをアゲる

抽選でプレゼント

オリジナルグッズで林業を森アゲよぅ♪

オリジナルステッカー

耐久性の高いステッカーをご用意!!
ヘルメットに貼って自慢しYO!!

50名 ▼実物サイズ(34×88㎜)　防水だゾ！

#イエス ゾーリンラブ！（造林）

↑ヘルメットにつけるとカッコいいゾ！

モバイルバッテリー

いつでもどこでも充電可能♪
人気があれば販売も検討しちゃうゾ笑
4000mAh 寸法：111×65×9㎜ 重さ：103g

3名

缶バッジ

カバンやバックにつけて
さりげなくアピールしようゼ！

10名　直径40㎜▶

Tシャツ 5名

造林を愛し造林に愛される人を目指す！
そんなあなたにアゲちゃうゾー リンラブ♪

#イエスゾーリンラブで林業を森アゲYO!!

ご応募はQRコードからお願いします。

読者アンケートにお答えいただいた方の中から、抽選でプレゼントいたします。
締め切りは2021年12月25日まで。当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。

キャニコムの もの。こと。

キャニコムは福岡県うきは市にある
林業・農業・土木建設用運搬車と
草刈機等を造っている会社です。

国道沿いのタワー。
南に向かうとキャニコム本社へ。
うきは市の白壁の町並みを模し
現在は地元高校への
応援メッセージがあります。

新治交差点
地図 をクリック

キャニコム　デザインの森／札幌・仙台・伊勢崎・東京・加西・西条・博多・福益

新工場「演歌の森うきは」

2021年 夏 竣工の新工場『演歌の森うきは』。
主に5tクラスの大型産業用運搬車、大型草刈機を製造予定。
生産設備の目玉はドイツ・TRUMPF(トルンプ)社の
レーザー加工機で、九州での導入は2例目。

演歌の森うきは

部品即納率99%※

部品即納率99%で “YOUザー” を強力にバックアップ!!
「お客様の作業を止めない」ことを第一に考え、
関東と九州で270,000点以上の部品を在庫し発送しています。

部品の注文・納期・修理サービスに関して　(平日9:00-12:00/12:50-17:10)
キャニコムパーツセンター　FAX 0943-75-5861／TEL 0943-75-3170

※2020年6月国内部品発送実績／即納率は、ご注文頂いた当日に発送できた割合を示します。

「2021 森林・林業・環境機械展示実演会」に出展

今年(2021年)、10月10日・11日に開催予定のイベントに参加します。
会場：北海道苫小牧東部地域 (北海道苫小牧市字柏原6-187)
主催：北海道、一般社団法人林業機械化協会

※今後の社会情勢により日程・内容が変更になる場合があります。詳細は「一般社団法人林業機械化協会」のホームページをご確認ください。

ネーミングのこと

日刊工業新聞者主催の
2020年度第31回読者が選ぶ「ネーミング大賞」で
『アラフォー傾子(ケイコ)』が大賞を受賞しました！！！
第17回の『伝導よしみ』で第4位を受賞してから
15年連続、ビジネス部門・生活部門にて受賞をしていましたが
全体の大賞は初となる快挙。

ネーミングキャニコム

経営はコストアップ
お客様の“ボヤキ”を
デザインする
勝ち組は価値組だ
ABCサービス本部…

包行 均 (著)
『これぞ、ザ・ネーミング〜。』
2016年3月発行

こんな受賞も

『荒野の用心棒ジョージ』のプロモーション動画とポスターが
福岡広告協会主催の第59回「福岡広告協会賞」で
WEB映像部門とポスターL部門で金賞に選ばれました！

CANYCOM_DNB

フォワーダやまびこレインジャー(BY510)が
第51回機械工業デザイン賞ＩＤＥＡ
【日本商工会議所会頭賞】受賞!!

何だこれ? なカタログ

カタログの表紙は、ユニークな表現になっています。
「きつい作業をもっと楽にしたい」という想いから
製品の特長を表現しています。
実は毎回「ボ・ヤ・キ」の３文字を入れ込んでいます。

世界100ヵ国

「義理と人情を世界100カ国に届ける」ことを目標に
現在51カ国と取引があります。
各国のお客様に合わせた開発をしています。

各国に合わせた仕様に改良

専用ステップ

世界中のお客様の“ボヤキ”を
商品としてデザインしていく。

※ボヤキ ＝ お客様が何気なくもらす不平不満や願望・要望のこと

and more

■ **LINEスタンプ**　ちまたで人気の『まさおくん』『草ボーマーズ』です。　キャニコム 公式ショップ

■ **グッズ販売**　SUZURI にてファングッズを販売しています♪　キャニコム_DNB

■ **製品購入・実演依頼**　お近くの販売店にご相談ください。
販売店がお近くにない場合は FAX・E メールでも受け付けています。
法人名 / 氏名 (フリガナ)・電話番号・Eメールアドレス、
お問い合わせの内容 (ご購入 / 実演 / その他ご相談等)
「冊子キャニコムを見て」と明記いただけると嬉しいです。
FAX 0943-75-8060 ／ Eメール info@canycom.co.jp

epi 1

– キャニコム 林業参入のきっかけ –

一度でいいから 海外旅行に行かせておくれよ。

私は結婚してから40年間、旅行に行ったことがない…
毎日、馬や牛の世話をしないといけないのよ。私がいないと馬や牛が困るもんね。
なんとか機械化できないものかね。そうすると旅行に行ける。
一生に一度でいいから、ハワイに行きたかね。

ある日、当社に森林組合の60歳を過ぎたおばあちゃんが訪れて切々とこう訴えた。

当時、山から木材を引き出して運搬する主力は馬であり、林業も機械化しないと跡継ぎもできないし、嫁も来ないという林業家存亡の時だった。このおばあちゃん以外でも、「何とか林業用運搬車をつくってもらえんやろか。このままでは日本の林業は滅びるかもしれん」と、森林組合長からも切実な要望があった。

そんな声を受けて、「馬のためにも林業家のためにも山のためにも、オレに任せろ」と応えたのが当時社長の包行良人であった。だが、その時は農業機械メーカーだったため、林業機械には初めての進出となり、まったく未知の世界であった。

農業用運搬車は、ぬかるんでいたり凹凸はあっても、だいたいは平たん地で使うことが多い。それと違い山は傾斜も厳しく、石や切り株もあるうえ、積載量がまったく異なる。しかも、野菜や果物を運ぶのではなく、間伐材の丸太が相手だ。それでも林業家にいろいろと教えてもらい、試行錯誤しながら、1979(昭和54)年にようやく完成できた。
業界初であり、われわれも飛び上がらんばかりであったが、もっと大喜びしたのがあのおばあちゃんであった。
早速ハワイに旅行に行ったのはいうまでもないが、帰ってきてから嬉しそうにお土産をもってきて発した「ありがとう」の言葉には重さがあった。

これは、困っている人の声に応えて開発する喜びが強く印象深かったできごとの一つである。日本の林業再生にひと役買ったのだ。その取り組みが評価され、林野庁長官賞を受賞した。

山彦とは本来、山を守る神様のことだが『やまびこ』という商品の名称には山と山で働く人を守りたいという当社の熱い思いが込められている。また販売面では「買ってください」「買うよ」という注文が山彦のように返ってくるようにとの願いが込められている。

1991年、台風19号が襲来し全国に未曾有の被害をもたらした。森林被害も深刻で、風倒木による2次被害が心配された。風倒木を処理しないと、残された森林までダメになる。ところが伐採が進んでも搬出ができない状況のなかで、その処理に『やまびこ』が抜群の性能を発揮したのだ。
幅2メートルのスペースがあれば、左右30度の急斜面地でも作業できるため引っ張りだこだった。年間120台売れた林機販売店もあったというほど人気が高かった。

馬から機械へ。“誰もつくらないものを、使う人の身になってつくる”と、必ず認められることを確信させてくれたのが『やまびこ』なのである。

Advanced technology development

先 -SEN-

先端技術により、
大変な作業を“楽に・安心安全に”行えるよう、
キャニコムでは「自動草刈機」や
「ラジコン草刈機」の研究開発を進めています。

Prototype
無人草刈機
インフラ維持等へ向けて

Prototype
ラジコン草刈機
40°以上の急傾斜対応

「アラフォー傾子」の姉妹機として、2022年発売予定。
傾斜や凹凸に対応した遠隔操縦できる草刈機です。

イラコミ 2 Illustration Comical Communication

Voice
キャニコム メンバーの声

現場で田邊氏より
色々な意見を伺いました。

お客様目線で現場に適した開発を
やまびこBY510担当　開発 K

お客様の要望をもとにした“お客様目線”での製品開発を意識して、より現場に適した製品の開発を心がけています。
◎ 積載した際の車両バランス (安定した走行)
◎ 設計ソフトによる重心位置の解析 (車両バランス)
◎ 横転警告等の安全性を考慮した機能 (使用者の安全確保)
急峻な山林でも安定して積載走行できるように、設計ソフトで車両の重心位置の解析を行い安定した走行を可能にしています。
また、山林での車両転落による事故などを防止するために、自動ブレーキや横転警告など安全性を向上する機能を搭載することでお客様に安心して使用いただける車両となっています。何よりもお客様の安全が一番です。

愛着を持って頂けるようなデザインに
プロダクトデザイナー U

キャニコムの製品デザインは、お客様が「おぉー」と感嘆の声をあげられたり、使用する際に笑顔で快適に使われることを想像しながら行っています。
外観は製品コンセプトに合わせた上で「力強さ」や「シンプルさ」等を検討しつつ“栄える形状”に仕上げ、操作部分は使用シーンを想定して、「使いやすさ」や「安全操作ができるレイアウト」を追求します。
開発設計者と共に、お客様からいただいた『ボヤキ』や、いろいろな問題解決をしながら製品をつくり上げていきますが、ご使用されるお客様にも愛着を持って頂けるような製品づくりを目指しております。

ラフスケッチと完成イメージ。

Let’s #タグる
広報 Y

こんにちは、広報担当のYです(*´ω`)
広報のお仕事のひとつ“SNS活動”についてご紹介します。
「# キャニコム # 筑水キャニコム #CANYCOM # 草刈機まさお # 乗用草刈機 # 山もっとジョージ # ライガー # ピンクレディ # 下町小町…」
←これらは Y が弊社 SNS のエゴサーチで使うワードの一部です。投稿してくださっている皆さまを見逃さないように日々エゴサーチしています！　夢は、SNS を通じてユーザーの皆さまと繋がること。
今日仕事で使ったよ！　草刈り終わった！　まさお見つけた！など、皆さまの投稿をお待ちしております。投稿する際は、#タグ付け をお忘れなく!!

エゴサーチ ＝ ネット上で会社/自分の評判をチェックすること
 # ＝ タグ/ハッシュタグ。SNS等で使うと検索や共有されやすくなります

CANYCOM_DNB

キャニコムは林業に携わる人々を応援しています！

林業関係者と繋がりたい
#イエスゾーリンラブ　#林業を森アゲ隊　#木のある暮らし

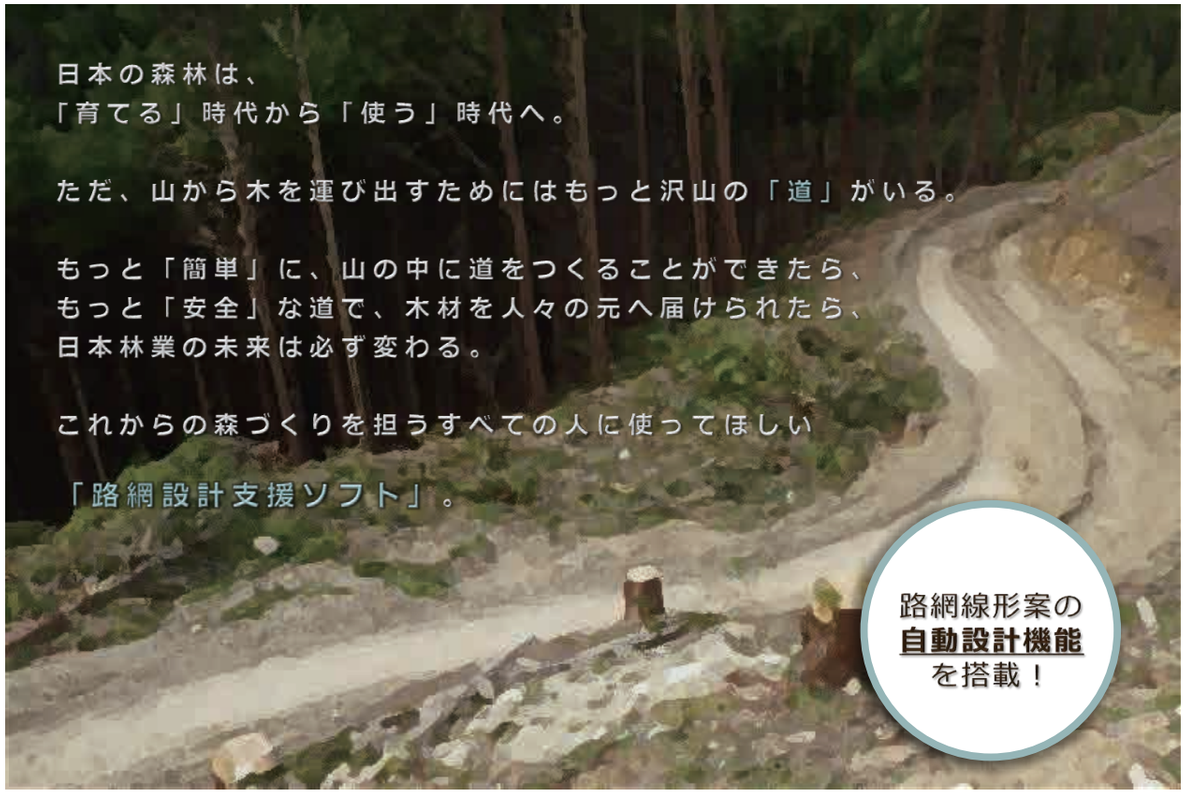
NISHIO

総合レンタル業のパイオニアとして
経済社会に貢献する

西尾レントオール株式会社

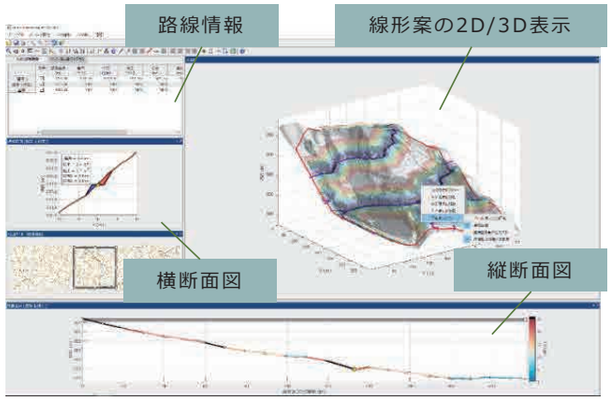
Forest Road Designer

ウッドデザイン賞受賞
JAPAN WOOD DESIGN AWARD 2018



地形情報を用いた対話的な設計機能で、路網設計業務を強力サポート！

- ☑ 設計条件を満たす線形案を自動で設計
- ☑ 便利な線形の勾配別・３D表示機能
- ☑ 任意の点で横段面・縦断面図を出力可能
- ☑ 線形案はshp・kml形式でかんたん出力、現地踏査ですぐに確認が可能
- ☑ ソフト上で山の危険度を把握することで、災害に強く安全な路網設計を支援



Forest Road Designer（FRD）の操作画面

■ 製品価格
ソフトウェア本体価格：65万円（税抜）71万5千円（税込）

■ 製品に関する詳細・お問い合わせ先
専用サポート窓口：✉ frd-support@photec.co.jp
FRDの操作動画の閲覧・見積依頼書のダウンロードは
右のQRコードもしくは以下のＵＲＬから
☞ http://sfc.jp/flrc/service/mountain_frd.html

住友林業株式会社
資源環境事業本部山林部
〒100-8270
東京都千代田区大手町一丁目3番2号
経団連会館(受付8階)
TEL　03-3214-3251　FAX　03-3214-3252
https://sfc.jp/